

事業所名

リーぷりんぐ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

10 日

法人（事業所）理念		お子様の今も未来も大切に考えて支援を行なう。安心してたくさんの出来た！嬉しい！の経験を積むことが出来る環境作り。お子様と親御様の安心基地。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立、運動、認知、行動、言葉、社会性等、子どもの健全な発達に必要な全ての領域を包括に支援する。 ・個別トレーニングと小集団活動を組み合わせた発達支援を行う。個別トレーニングで獲得したスキルを、小集団においても遂行できるよう支援し、幼稚園、保育園といった集団活動へつなげていく。 ・プログラムを計画し、遂行する中でたくさんの成功体験を積み、自己肯定感が育つような支援を行なう。応用行動分析（ABA）を軸とした支援を行う。 					
営業時間		10 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	朝や帰りの支度、衣服の着脱、食べる前の手洗い、排せつの自立等基本的な生活スキルを楽しく前向きに獲得できるよう支援する。視覚支援、わかりやすい指示、ご褒美の活用等、各々に合った計画に基づいて自立を促していく。 避難訓練（火災、地震発生時の避難場所への移動訓練、避難方法の確認）					
	運動・感覚	散歩、体操、音楽（リトミック遊び、公園遊び、ジャンプ、ボール投げ等、室内でできる運動スキル） 工作プログラム（紙、粘土等、様々な材質に触れ、作品作りをする。手先の巧緻性を高める。） 手遊び、ログハウス、公園遊び					
	認知・行動	個別療育（マッチング、身の回りの物事の知識、理解、概念、記憶、思考力などを養う、読み書き計算などの学習スキル等年齢や発達段階に応じて指導する。） 自由遊び（意思決定力の向上、他者との関わり方を知る） 時間に対する認知の形成（タイマーの活用、スケジュールの確認、プログラム間の切り替え） 認知の偏りへの対応					
	言語コミュニケーション	はじめの会、帰りの会（発信者の言葉を最後まで聞く力） 「伝えたい」「話したい」と思える環境作り。必要な補助を用いながら、徐々に自立での発信を目指していく。 絵本の読み聞かせ（聞く力の形成）					
	人間関係社会性	集団活動（ルールを守って遊ぶことで、楽しい体験を積む。おもちゃの貸し借りを通して社会性を学ぶ。順番の遵守。） 挨拶・季節のイベント（ハロウィン、クリスマス、お正月等）					
家族支援		保護者面談（随時） 学校、幼稚園、保育園、相談支援員、その他関係機関との連携 ペアレントトレーニングの実施			移行支援		進学先、就労先との情報共有 進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践
地域支援・地域連携		関係各所との連絡事項の共有 ケース会議等の連携 区内福祉協会の参加・学校や地域事業所やケアプラザ、地域の方々との連携			職員の質の向上		採用時研修（基礎研修、虐待、身体拘束、BCP研修、ABA研修） 外部研修（ABA研修、PECS研修、感覚統合研修） その他内部研修（虐待、身体拘束、BCP研修、ABA研修）
主な行事等		地域事業所、学校と連携したガパオ祭りの開催（7月）リーぷりんぐ祭り（11月） 地域の方、ケアプラザ、リーぷりんぐでの合同講座開講（年1回）					